

Let's talk:

# 嶋津幸樹の世界と繋がる IELTSブログ



英検 公益財団法人  
日本英語検定協会  
Eiken Foundation of Japan

BRITISH COUNCIL IELTS  
Official Test Centre

## 第7回「IELTS エキスパートが伝授する IELTS ライティングで使える表現集」

嶋津幸樹

全8回でお届けする連載「世界と繋がる IELTS」、第7回の今回は IELTS ライティングで使える表現を紹介していきます。IELTS ライティングはスピーキングとは異なり、口語表現ではなく、よりフォーマルな文体が好まれます。高得点に繋がる英語表現の「型」を20個紹介していきますので、自分のオリジナルの文章を作り定着させていきましょう。

### ●前年よりも増加したものを描写

The number of \_\_\_\_\_ grew from last year.

グラフを描写するライティング Task 1 では増減の英語表現が必須です。増加を描写する時には grow (増える) + 「副詞」を用いて grow rapidly (急速に増える) や grow steadily (着実に増える) のような頻出表現を適材適所に使えるようにしましょう。ちなみに grow の gr の語源は「成長する」は green (緑) や grass (草) と同語源です。

例: The number of tourists from China grew exponentially from last year.

「昨年から中国からの観光客数は急激に増加した。」

### ●ライティング Task 1 の導入で図やグラフを想定して描写

The line graph represents the number of \_\_\_\_\_.

IELTS ライティングでは図やグラフを描写する課題が出題され、「表す」を意味する represent は必須表現であり、show/demonstrate/illustrate/indicate などにパラフレーズできます。stand for はより口語的な表現になるためスピーキングで活用しましょう。

例: The line graph represents the number of annual visitors to the national parks.

「その折れ線グラフは国立公園への年間訪問者数を表している。」

●前年に比べて大幅に増えたものを描写

\_\_\_\_\_ increased substantially as compared to the previous year.

IELTS ライティング Task1 では増減を描写する英語表現が必須で increase のような基本英単語には substantially (実質的に、大幅に) のような高度な副詞を用いて表現の幅を広げましょう。他にも increase を修飾する副詞は sharply (急激に) / markedly (著しく) / dramatically (劇的に) / exponentially (急激に) などがありますのでまとめて覚えておきましょう。

例: The population of the city increased substantially as compared to the previous year.

「その都市の人口は前年に比べて大幅に増えた。」

●近年人気になっているものを描写

\_\_\_\_\_ has become increasingly popular in recent years.

現在完了形を用いて過去のある時点から今まで継続的に人気が出てきていることを表す英文です。become popular に「益々」を意味する副詞の increasingly を追加することで表現の幅を広げることができます。副詞を適材適所に用いて IELTS ライティング評価基準の Lexical Resource (語彙の豊富さ) で高得点を目指しましょう。

例: The use of AI has become increasingly popular in recent years.

「近年、AI の使用は益々人気になってきている。」

●世の中で競争が激しくなっているものを描写

\_\_\_\_\_ is becoming increasingly competitive in today's society.

competitive (競争的な) の語源は com (共に) + pet (求める) からお互いに競い合っているイメージができ、appetite (食欲) や repeat (繰り返し) と同語源です。competitive society (競争社会) や competitive price (競争価格) など資本主義に関連する文脈でもよく使われます。名詞形の competition と動詞形の compete についても用法を確認しておきましょう。

例: Online marketing is becoming increasingly competitive in today's society.

「オンラインマーケティングは今日の社会においてますます競争が激しくなっている。」

●最近注目されている事柄を描写

In today's society, a great deal of attention has been paid to \_\_\_\_\_.

IELTS ライティング Task 2 の導入では誰もが頷ける一般文 (General Statement) から始めるため pay attention to A を受動態にした A great deal of attention has been paid to A. (A に注目が集まっている) を用いるのが有効です。「注目の的になる」という意味の be in the spotlight と be in the limelight もあわせて覚えておきましょう。

例: In today's society, a great deal of attention has been paid to mental health.

「今日の社会ではメンタルヘルスに多くの注意が払われている。」

●現代社会において至るところに存在するものを描写

\_\_\_\_\_ has become ubiquitous in modern society.

ubiquitous はどこにでも出現することを意味する形容詞であり、低頻出語彙のため稀に英字新聞やニュースなどで目にする程度ですが、アカデミックライティングでは頻出表現です。また throughout the world (世界の至る所) や exist every corner of the world (世界の至る所に存在する) などにパラフレーズされることがあります。

例: AI has become ubiquitous in modern society.

「AI は現代社会の至るところに存在している」

●世の中の人々が合意していることを描写

There has been a widespread agreement on \_\_\_\_\_.

IELTS ライティングでは Many people agree that... のような「人」を主語にとる英文よりも There を主語にしてパラフレーズした客観性の高い英文が好まれます。また導入における一般文 (General Statement) では誰もが頷ける文章が求められるため、In today's society などを文頭に追加し、最近のトレンドとしてこのような英文で始めるのも良いでしょう。

例: There has been a widespread agreement on the use of AI in education.

「教育における AI の使用について広範囲にわたる合意がある。」

●格差がかなり減っていることを描写

The gap between \_\_\_\_\_ and \_\_\_\_\_ has considerably narrowed.

narrow は「狭い」という形容詞の顔をしていますが、動詞形で「狭くする」という意味があります。

IELTS ライティングでは社会問題について触れられることが多く、「格差」に関する表現をまとめておくと良いでしょう。gender gap (ジェンダー格差) や opportunity gap (機会格差)、そして gap と同義語の disparity を使った educational disparity (教育格差)、そして最近では digital divide (デジタル格差) も話題になっています。

例: The gap between the U.S. and China had considerably narrowed.

「アメリカと中国間の差異はずいぶん狭まった。」

●学生が学校で求められるべきこと描写

Students should be required to \_\_\_\_\_ at school.

IELTS では学校や大学での文脈での出題が多く、ライティングでは自分自身の意見を求められます。

主観的な表現である I think で始め that 節以下で need を用いてしまう英語学習者が多くいますが、need を require に言い換える、つまりパラフレーズして受動態の形にすることで主語を省くことができ、客観性を高めることができます。この文章は It is necessary にパラフレーズすることも可能です。

例: Students should be required to learn foreign languages at school.

「学生は学校で外国語を学ぶことを必修化されるべきである。」

●犯罪の主な原因になりうるものを描写

\_\_\_\_\_ can be a major cause of crime.

IELTS では犯罪に関するテーマは頻出です。また IELTS ライティング Task 2 では課題解決型のエッセーを書くことが求められ、因果関係の英語表現が役立ちます。この文章をより高度な表現にするには cause を contributor にパラフレーズするのも良いでしょう。また A may result in B (A は B という結果になるかもしれない) や A can be attributed to B. (A は B に起因する可能性がある) など必須表現です。

例: Unemployment can be a major cause of crime.

「失業は犯罪の主な原因である。」

●過去の人々が過小評価していたことを描写

People in the past underestimated the value of \_\_\_\_\_.

underestimate の語源は under (下に) + estimate (見積もる) で数量や能力、価値、値段を低く見積もるという意味で underestimate the value of A の型でよく使います。反意語は overestimate (過大評価する) となり、place a high value on A (A に高い価値を置く) と表現しても良いでしょう。

例: People in the past underestimated the value of sleep.

「過去の人々は睡眠の価値を過小評価していた」

●日本の教育に取り入れられることを描写

\_\_\_\_\_ can be implemented in Japanese education.

implement は「計画や施策などを取り入れ実行する」という意味で新しい技術やアイデアが対象となることが多く、implement a new technology (新技術を取り入れる) や implement a new initiative (新たな計画を実行する) のように使い、carry out にパラフレーズできます。また名詞形では tool の類義語として「農業や園芸の道具」という意味もあります。

例: Mindfulness can be implemented in Japanese education.

「日本の教育においてマインドフルネスは導入可能である。」

●見込みが低いものを描写

The likelihood of \_\_\_\_\_ is low.

likelihood は「可能性」や「見込み」を意味し、be likely to ~ (~しそうである) の likely の名詞形です。-hood は「性質」や「状態」などを意味する接尾辞で、childhood (幼少期) や neighborhood (近隣) などが同語源です。likelihood は chance (見込み) や probability (可能性) にパラフレーズできます。そして成句の in all likelihood (十中八九) も覚えておきましょう。

例: The likelihood of eliminating all greenhouse gases is low.

「全ての温室効果ガスを除外する見込みは低い。」

●過去数年間で比較的安定しているものを描写

\_\_\_\_\_ have been relatively stable over the past few years.

relatively (比較的に、相対的に) は absolutely (絶対的に) の反意語で客観性を高める表現として IELTS ライティングで活用できる便利な副詞です。relatively speaking (比較して言えば) だけでなく、ethically speaking (倫理的に言えば) や strictly speaking (厳密に言えば)、generally speaking (一般的に言えば) も覚えておきましょう。

例: The company's profits have been relatively stable over the past few years.

「同社の利益はここ数年比較的安定している。」

●英語学習における最も重要な側面を描写

One of the most important aspects of learning English is \_\_\_\_\_.

ライティングの本論 (Body) の最初の文章で他の話題を展開したいときに Another important aspect of A is B. 「A のもう一つの重要な側面は B である」のように始めることができます。日本人英語学習者は point や thing を多用しがちなので aspect にパラフレーズして表現してみましょう。

例: One of the most important aspects of learning English is vocabulary acquisition.

「英語学習における最も重要な側面の一つは語彙の習得である。」

●AI 技術の重要な特徴の 1 つを描写

One salient feature of AI technology is \_\_\_\_\_.

salient は「顕著な」「突き出た」や名詞形では「突出部」という意味で知られていますが、「重要な」という意味もあり、important/critical/significant にパラフレーズできる重要語彙です。また名詞形の salience は「議論の重要点」という意味がありアカデミックライティングでよく使うので覚えておきましょう。

例: One salient feature of AI technology is its predictive analysis.

「AI 技術の顕著な特徴の一つはその予測分析である。」

●貧困に繋がっている失敗を描写

One reason for persistent poverty is the failure of \_\_\_\_\_.

アカデミックライティングでは 1 つの主張に対して理由や根拠となるものが必要となります。今回は、persistent poverty (いつまでも続く貧困) はどのような失敗が原因となっているかを表現する文章です。

例: One reason for persistent poverty is the failure of the government.

「貧困が続いている理由の 1 つには政府の失敗がある。」

●社会にとって大いに有害であるものを描写

\_\_\_\_\_ is largely detrimental to the society.

detrimental (有害な) は健康や社会に対してネガティブな影響がある時に使い、bad/ negative/ harmful などの高頻出語彙をパラフレーズできます。使い方については、be detrimental to A (A に有害である) と have a detrimental effect on A (A に悪効果がある) の 2 つの用法を状況に合わせて使い分けていきましょう。

例: Discrimination is largely detrimental to the society.

「差別は社会に対してとても有害である」

●環境に破壊的な影響を与えているものを描写

\_\_\_\_\_ has a disastrous effect on the environment.

連載第3回では have a great influence on A (Aに多大な影響がある)を紹介しましたが、スピーキングでもライティングでも因果関係を示すときに「影響を与える」という表現は必須で、disastrousのような高度な形容詞を用いることも重要です。最近の環境問題の要因となる様々な現象を英語で表現できるようにしておきましょう。

例: Air pollution has a disastrous effect on the environment.

「大気汚染は環境に破壊的な影響をもたらす。」

いかがでしたでしょうか？ IELTS ライティングでは日常会話では用いないアカデミックでフォーマルな表現が高得点に繋がります。日頃からアウトプットを意識してライティングで使える英語表現に注目しながら意味のある学習を続けていきましょう。今回も前回と同様、20の「型」を拙著「ビジュアルで覚える IELTS 基本英単語 (ジャパンタイムズ出版)」から引用し、「はじめて受ける人のための IELTS 総合対策スピードマスター入門編 (Jリサーチ出版)」の最後にまとめた巻末付録からも引用しています。次回はいよいよ最終回、「世界基準の英語試験 IELTS との別れ」で衝撃的な締め括りにご期待ください。

[IELTS 編集部トップに戻る](#)